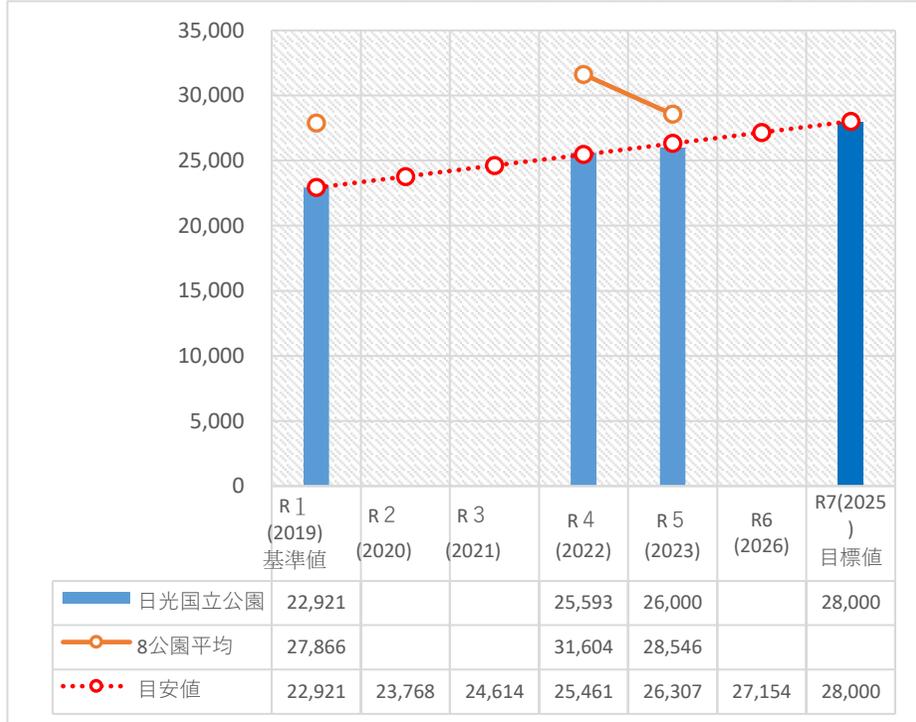


## 数値目標の達成状況及び概要

資料2

### 1 国立公園での一人当たりの日本人観光消費額 (2025年目標 28,000円)

出典： 令和5年度国立公園満喫プロジェクト推進業務報告書



※R2(2020)、R3(2021)年については、新型コロナウイルス感染拡大のため、調査は行わなかった。

#### 【達成状況】

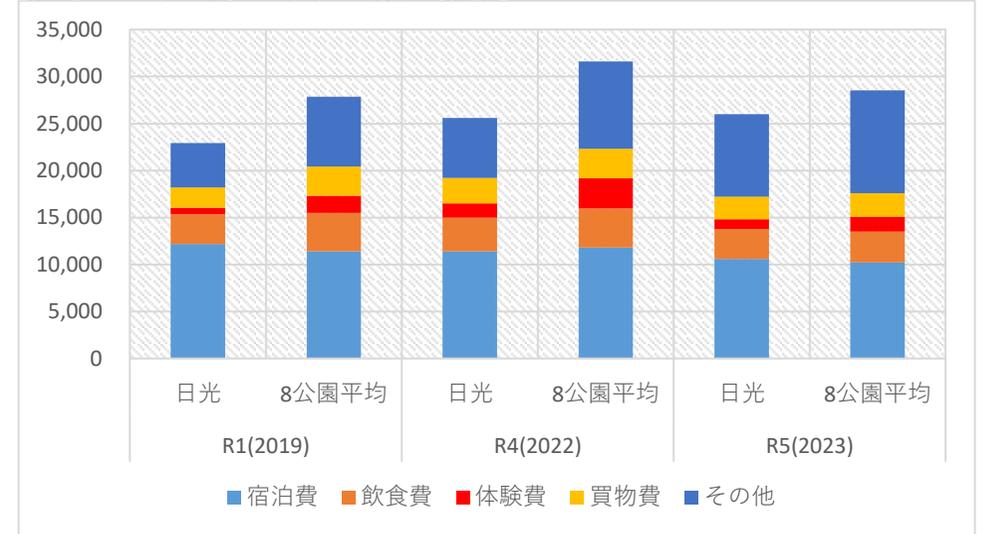
- 2025年目標28,000円に対し、**92.8%まで到達しており概ね順調**である。
- 8公園平均と比較し、R5年の日光国立公園の**全体消費額は、下回っており、特に体験費は大きく下回っている**。

#### 【概要】

- R5年は26,000円で、前年と比較して407円の増(102%)となった。また、R1年と比較すると3,079円の増(113%)となり、新型コロナウイルス感染症拡大前のR1年以上に回復した。
- 日光国立公園の宿泊費はR4、5年いずれも新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に回復していない。
- 日光国立公園の飲食費、体験費、買物費はR1年からはわずかに増加しているが、R4年からは減少している。

### 【参考：日本人観光消費額内訳の推移】

出典： 令和5年度国立公園満喫プロジェクト推進業務報告書



	R1(2019)		R4(2022)		R5(2023)	
	日光	8公園平均	日光	8公園平均	日光	8公園平均
宿泊費	12,188	11,411	11,403	11,818	10,616	10,234
飲食費	3,173	4,102	3,608	4,169	3,180	3,272
体験費	676	1,801	1,521	3,196	1,032	1,547
買物費	2,178	3,129	2,668	3,144	2,382	2,539
その他	4,706	7,423	6,393	9,277	8,790	10,954
全体消費額	22,921	27,866	25,593	31,604	26,000	28,546

※一人当たりの日本人消費額は、アンケート回答金額から平均額を算出したもの。

# (参考) 国立公園の日本人リピーター率と観光消費額等との相関関係について

## 日光国立公園の特徴

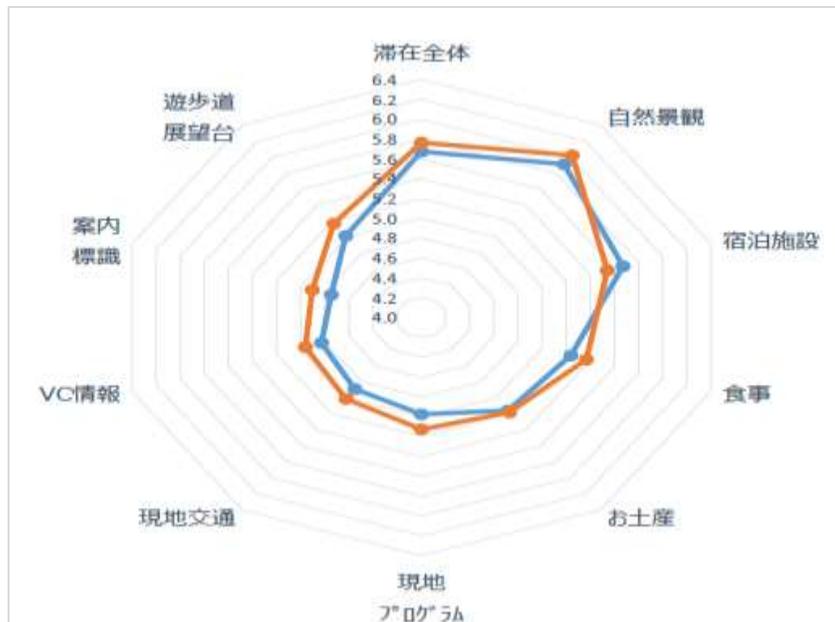
### (リピーター率について)

- リピーター率が他の国立公園よりも高い。
- リピーター率が高い国立公園では、消費額全体が平均よりも高い傾向にあるが、日光国立公園は平均を下回っている。
- リピーター率が高い国立公園は、宿泊費が平均よりも高いが、宿泊数は平均よりも下回る傾向がある。
- 日光国立公園はリピーター率が高いにもかかわらず、滞在中の満足度が平均よりも低い。一方で、国立公園の認知度は平均よりも高いことから、認知度の高さやアクセスの良さからリピートに繋がっていると考えられる。
- リピーター率が高い国立公園は、「滞在中の満足度」は平均よりも高いが、日光は平均よりも低かった。

### (日本人利用者の特徴)

- 日光は、消費額が平均よりも少ないにもかかわらず、リピーター率が高いことを鑑みると、低価格で滞在を楽しむ傾向があると考えられる。
- 日光が消費額を高めるためには、宿泊数(宿泊率)の増加、体験費等の単価の向上が必要であると考えられる。

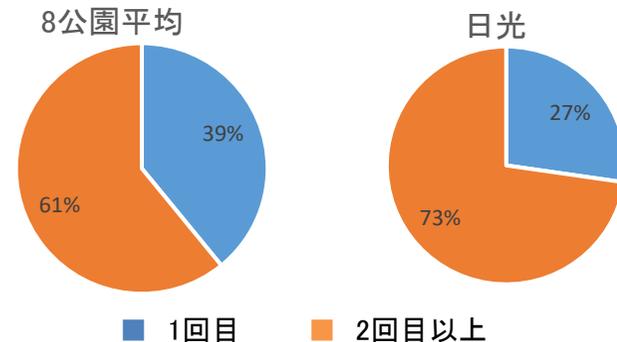
## 【参考】項目別の満足度(日本人) 出典等：国立公園訪問者アンケート23年実施結果(日光国立公園)



■ 日光国立公園      ■ 13国立公園平均

## 【参考】日本人観光客のリピーター数

出典：令和5年度国立公園満喫プロジェクト推進業務報告書



# 数値目標の達成状況及び概要

## 2 国立公園での一人当たりの訪日外国人観光消費額（単位：円）

出典等：国立公園満喫プロジェクト推進業務報告書



※R2(2020)～R4(2022)年については、新型コロナウイルス感染拡大のため、調査は行わなかった。

### 【達成状況】

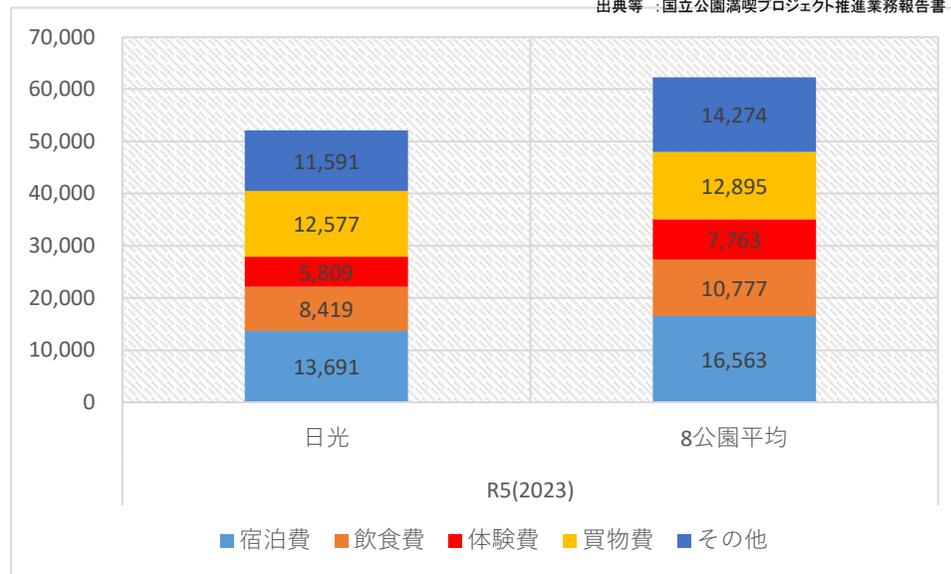
- 2025年目標65,000円に対し、**80%到達しており概ね順調**である。
- 8公園平均と比較すると、**宿泊費、飲食費及び体験費が下回っている。**

### 【概要】

- R5年は、52,088円で、R1年と比較して15,007円の増(140%)となり、新型コロナウイルス感染症拡大前のR1年以上に回復した。
- R1及びR5の日光国立公園の全体消費額は、いずれも8公園平均よりも少ない。
- R5年は8公園平均と比較して、特に、**宿泊費及び体験費が大きく下回っている。**

### 【参考：R5年 訪日外国人観光消費額内訳】

出典等：国立公園満喫プロジェクト推進業務報告書



	R1 日光	R1 8公園平均	R5 日光	R5 8公園平均
全体消費額	37,081	65,046	52,088	62,273
宿泊費			13,691	16,563
飲食費			8,419	10,777
体験費			5,809	7,763
買物費			12,577	12,895
その他			11,591	14,274

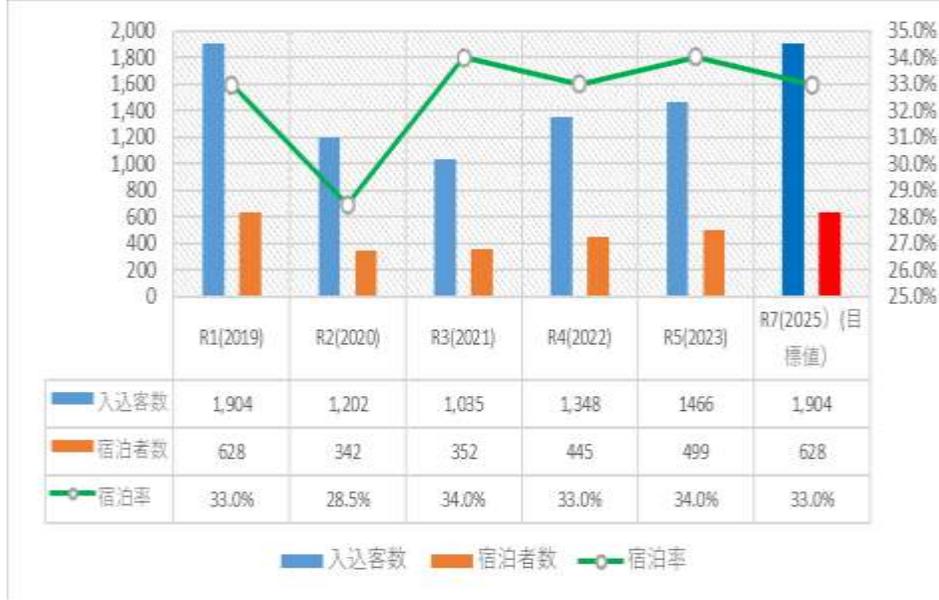
※R1(2019)年の日光国立公園及び8公園平均の消費額の内訳は不明。

※一人当たりの訪日外国人消費額は、アンケート回答金額から平均額を算出したもの。

# 数値目標の達成状況及び概要

## 3 日光国立公園観光入込客数・宿泊数（単位：万人）

出典：R5(2023)年栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果(国立公園外の地域を含む。)



### 【達成状況】

- 入込客数は、2025年目標に対し、77%到達。
- 宿泊者数は、2025年目標に対し、79%到達。

### 【概要】

- R5年の入込客数は、前年と比較して118万人の増(109%)となったが、R1年と比較すると438万人の減(77%)であった。
- 入込客数の市町別では、日光市の755.7万人が最も多く、次いで那須塩原市の195.5万人、那須町の185.6万人の順となった。
- R5年の宿泊数は、前年と比較して54万人の増(1.12%)となったが、R1年と比較すると129万人の減(79.4%)となった。
- 宿泊数の市町別では、日光市の264.7万人が最も多く、次いで那須町の127.1万人、那須塩原市70.7万人の順となった。

## 【参考：栃木県全体観光入込客数・宿泊数】(単位：万人)

出典：R5(2023)年栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果(国立公園外の地域を含む。)



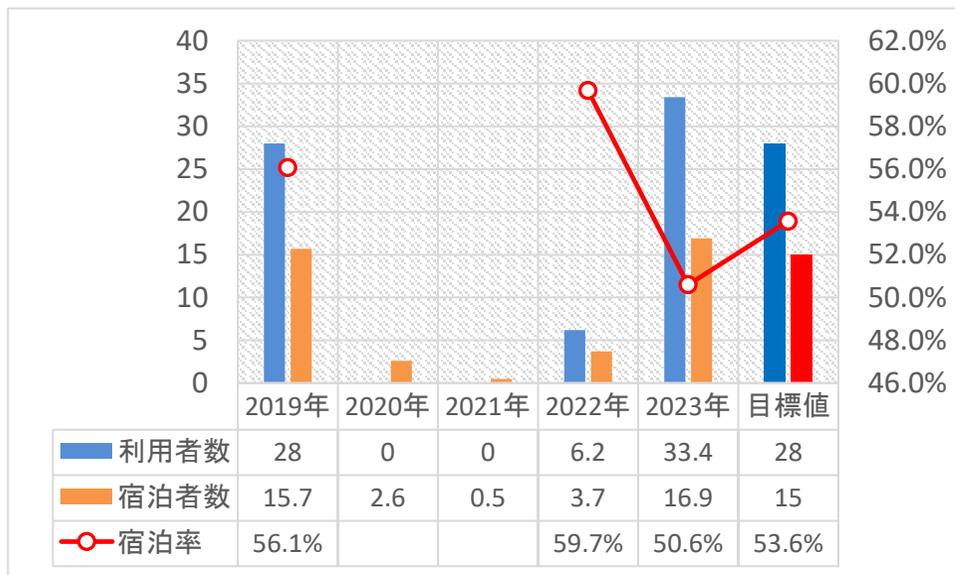
### 【概要】

- R5年の入込客数は、前年と比較して1127.2万人の増(115.5%)となったが、R1年と比較すると840.6万人の減(90.9%)であった。
- 入込客数の市町別では、宇都宮市の1270.6万人(県全体に占める構成比15.1%)が最も多く、次いで日光市の992.5万人(11.8%)、那須塩原市の752.0万人(9.0%)の順となった。
- R5年の宿泊数は、784.7万人で、前年と比較して60.3万人の増(108.3%)となったが、R1年と比較すると41.0万人の減(95.0%)であった。
- 宿泊数の市町別では、日光市の278.0万人(県全体に占める構成比35.4%)が最も多く、次いで宇都宮市の85.0万人(23.6%)、那須町の176.5万人(22.5%)の順となった。

# 数値目標の達成状況及び概要

## 4 訪日外国人日光国立公園利用者数・宿泊者数（単位：万人）

出典等：令和5年度国立公園満喫プロジェクト推進業務報告書



### 【達成状況】

- 利用者数は、2025年目標28万人を超える、33万人に到達。
- 宿泊者数は、2025年目標15万人を超える、17万人に到達。

### 【概要】

- R5年の利用者数は、前年と比較して26.8万人の増(532.2%)となり、R1年の28万人(目標値)から5万人の増(117.8%)となった。
- R5年の宿泊数は、前年と比較して13.3万人の増(459.4%)となり、R1年の15万人(目標値)と比較すると2万人の増(113.3%)となった。

※2022年利用者数は下半期のみの集計 ※2020年、2021年は外国人利用者数の調査を実施していない。

## 【参考：日本の自然に期待して来日した訪日外国人の割合(国立公園全体)】(単位：人)

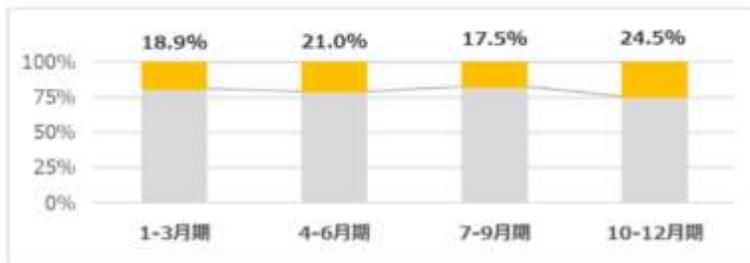
項目	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期
訪日外国人数	4,787,169	5,903,493	6,578,491	7,630,532
日本の自然に期待して来日し、国立公園を訪問した訪日外国人数	904,524	1,239,409	1,152,616	1,867,616

### 【概要】

- 訪日外国人の約20%前後は、日本の自然や四季の体験・観光を期待して来日し、国立公園を訪れている。

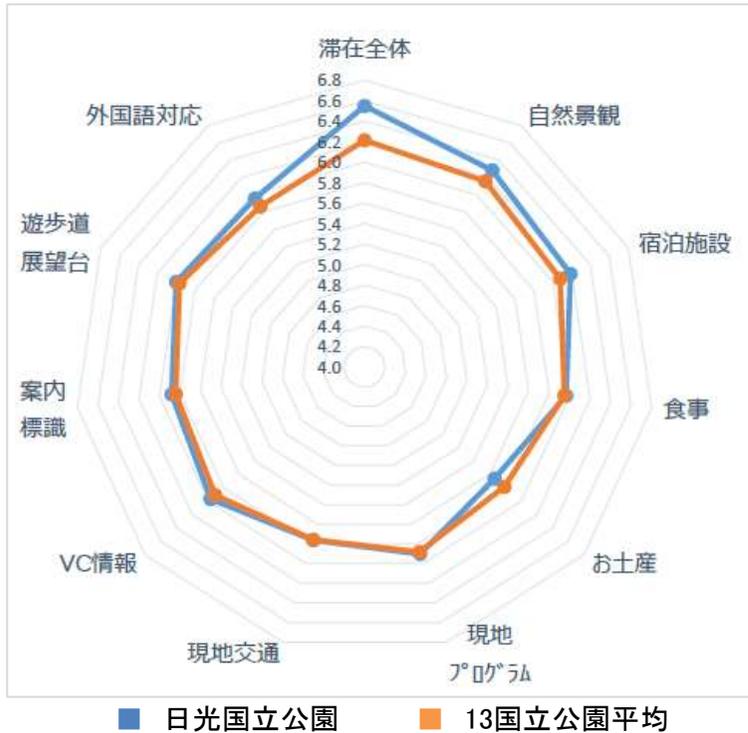
出典等：令和5年度国立公園満喫プロジェクト推進業務報告書

日本の自然に期待して来日し、実際に国立公園を訪問した割合

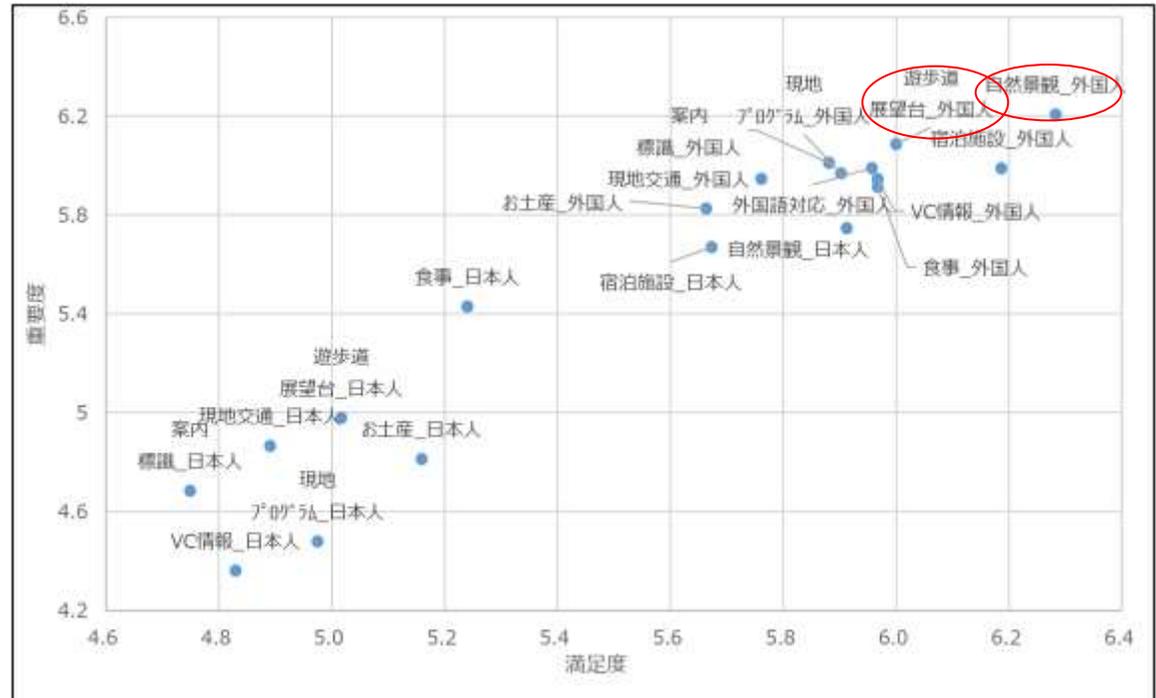


# (参考)外国人利用者の満足度について

【参考】 項目別の満足度(外国人)  
(最大7点～最低1点で点数化)



【参考】 訪問における各項目の重要度



※満足度・重要度は「大変満足」「非常に重視する」7点～「大変不満」「全く重視しない」1点として、各項目を点数化したもの

出典等 : 国立公園訪問者アンケート23年実施結果(日光国立公園)

出典等 : 国立公園訪問者アンケート23年実施結果(日光国立公園)

## 【概要】

- 外国人は「自然景観」、「遊歩道・展望台」など自然とのふれあいを重要視して日光国立公園に訪問していることから、自然景観や遊歩道・展望台の適切な維持管理は、外国人の利用数・宿泊者数の増加に寄与することが考えられる。
- 利用者数及び宿泊者数が目標値を超えたにも関わらず、観光消費額は目標値を達成しなかった。このことから、観光消費額の増加には、利用者数や宿泊者数の増加以外に、宿泊費や体験費等の単価を向上させることが必要と考えられる。

# ハード整備状況

## (1) 外国人に対応した施設整備の進捗

### ● トイレ洋式化の状況

(単位:箇所)

		R5年度末全体数		R5年度末までの対応数		整備率
日光	国	6		6		100.0%
	県	12	37	12	37	
	市町村	19		19		
鬼怒川	国	0		0		76.3%
	県	0	38	0	29	
	市町村	38		29		
塩原	国	0		0		55.6%
	県	2	18	2	10	
	市町村	16		8		
那須	国	1		1		100.0%
	県	0	18	0	18	
	市町村	17		17		
合計		111		94		84.7%

※洋式トイレが1基以上ある、自然公園施設のトイレの数。

### ● 案内標識多言語化の状況

(単位:基)

		R5年度末全体数		R5年度末までの対応数		整備率
日光	国	30		30		84.5%
	県	65	97	50	82	
	市町村	2		2		
鬼怒川	国	0		0		70.6%
	県	3	17	1	12	
	市町村	14		11		
塩原	国	0		0		37.7%
	県	45	53	18	20	
	市町村	8		2		
那須	国	23		17		51.6%
	県	27	64	9	33	
	市町村	14		7		
合計		231		147		63.6%

### 【整備の課題】

- ・トイレ改修(温水洗浄付き暖房便座の導入等)による、維持管理費(光熱水費・修繕料等)の増加。
- ・整備と併せて維持管理が課題。維持管理の方式(委託・直営・協定等・協力金の有無・冬期利用の可否)
- ・施設自体の改修・更新の検討が必要になっており、トイレ個別の洋式化を実施できない施設もある。

## (2) その他の主な施設整備の2023年の実績

日光	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦場ヶ原周回線歩道(環境省)</li> <li>・ 中禅寺湖周回線歩道(南岸歩道)、中宮祠園地(華厳観瀑台)(栃木県)</li> </ul>
鬼怒川	
塩原	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校平遊歩道改修、おしらじの滝遊歩道改修(矢板市)</li> <li>・ 雄飛の滝線歩道(片棧橋)、須巻富士新湯線歩道(大沼歩道)(栃木県)</li> </ul>
那須	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 那須高原歩道(八幡展望台)(栃木県)</li> </ul>